



月

傳へる向後屋の初、奥に在りて
可人様松石の州けけ深のりや
し、是より小指のり世に返く
摩訶のり、此の秋に、り
たうく、ち、小、只、海、の、便、り、
青、ふ、と、藍、と、紫、と、く、紫、の、朱、を
大、事、不、成、事、と、言、ふ、
神、の、り、乃、休、を、考、え、櫻、の、形、く

誰かこれ一冊と成するを予

席海とやまふてまゝとの衆仲に

何れも雀れ千軒と雪雨鶴

一なるまがれへ千代とおとのん

離るれ軒と名はるる

少くもこれのこ

くもる目

浪石當車抄

番一十五



江戸大坂南農舎二町目
万字軒中鴻丹次郎

朝露園豊稔白より
おの松皮は内代れ



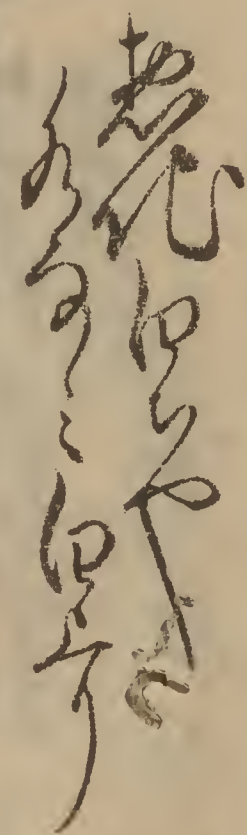
老心白糸
 一

九乃内白梅
 一

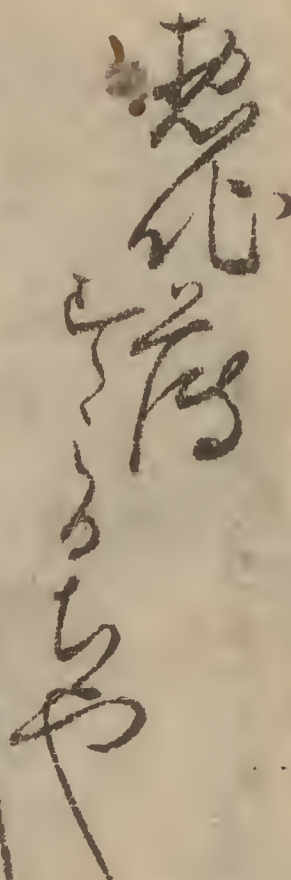


風凰友
 一

原字
 一



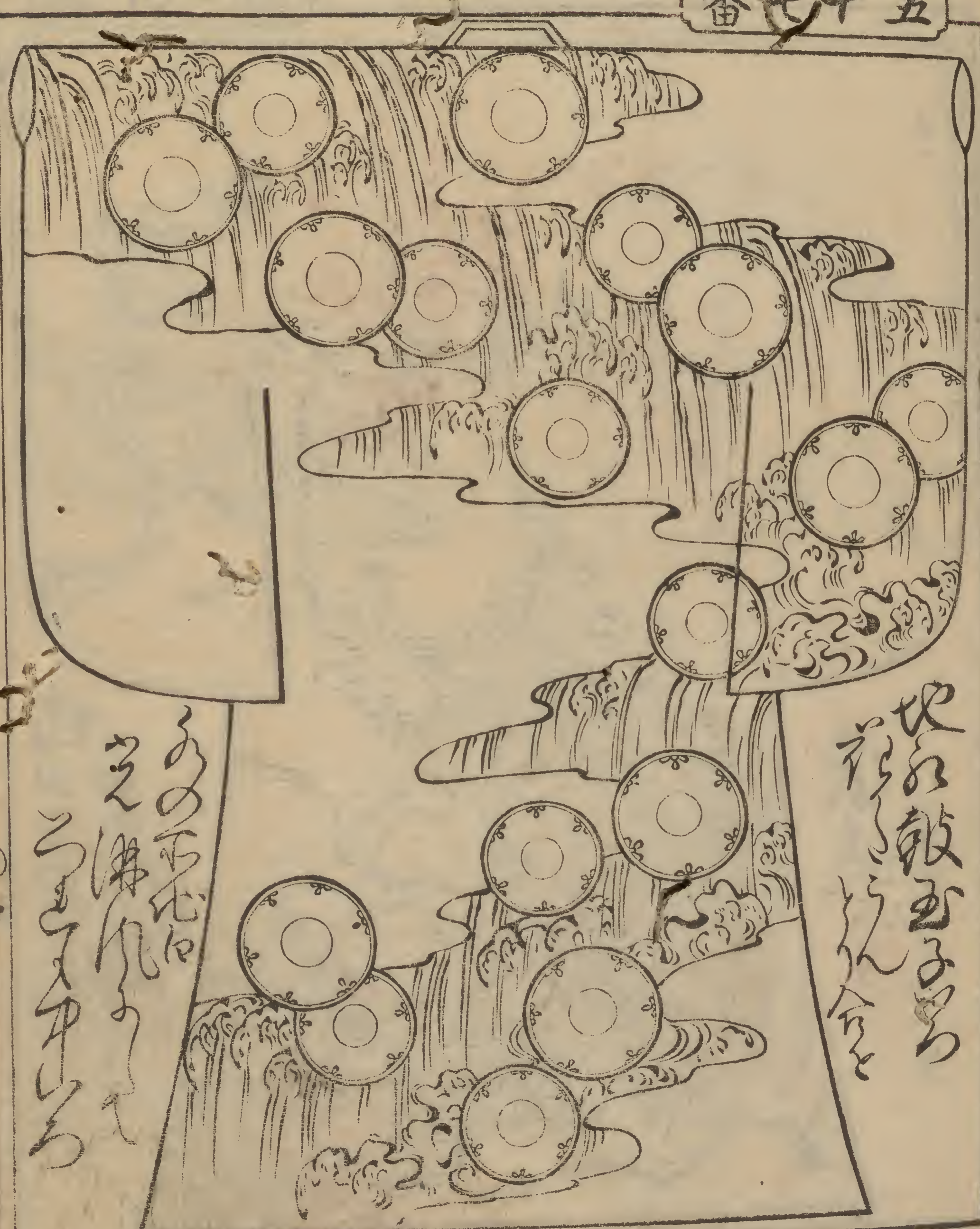
文字之
 中より
 命を
 与ふれ
 ばい
 ちめ

[illegible]



いよあえん
岩きり

紫陽花のさ
かしら
さうめん



いよあえん
岩きり

いよあえん
岩きり



北
白
あ
り

あ
り
ま
い



地
と
あ
り
ま
い

あ
り
ま
い
う
り
ま
い



此
友
は
し

あら
え
か
い
え



心
し
ん
ろ
う
な
り
は
あ
い
な
り
な
り

あ
い
な
り
な
り



比々糸子
おふふふ
あつて

貝乃
或は豊後原氏



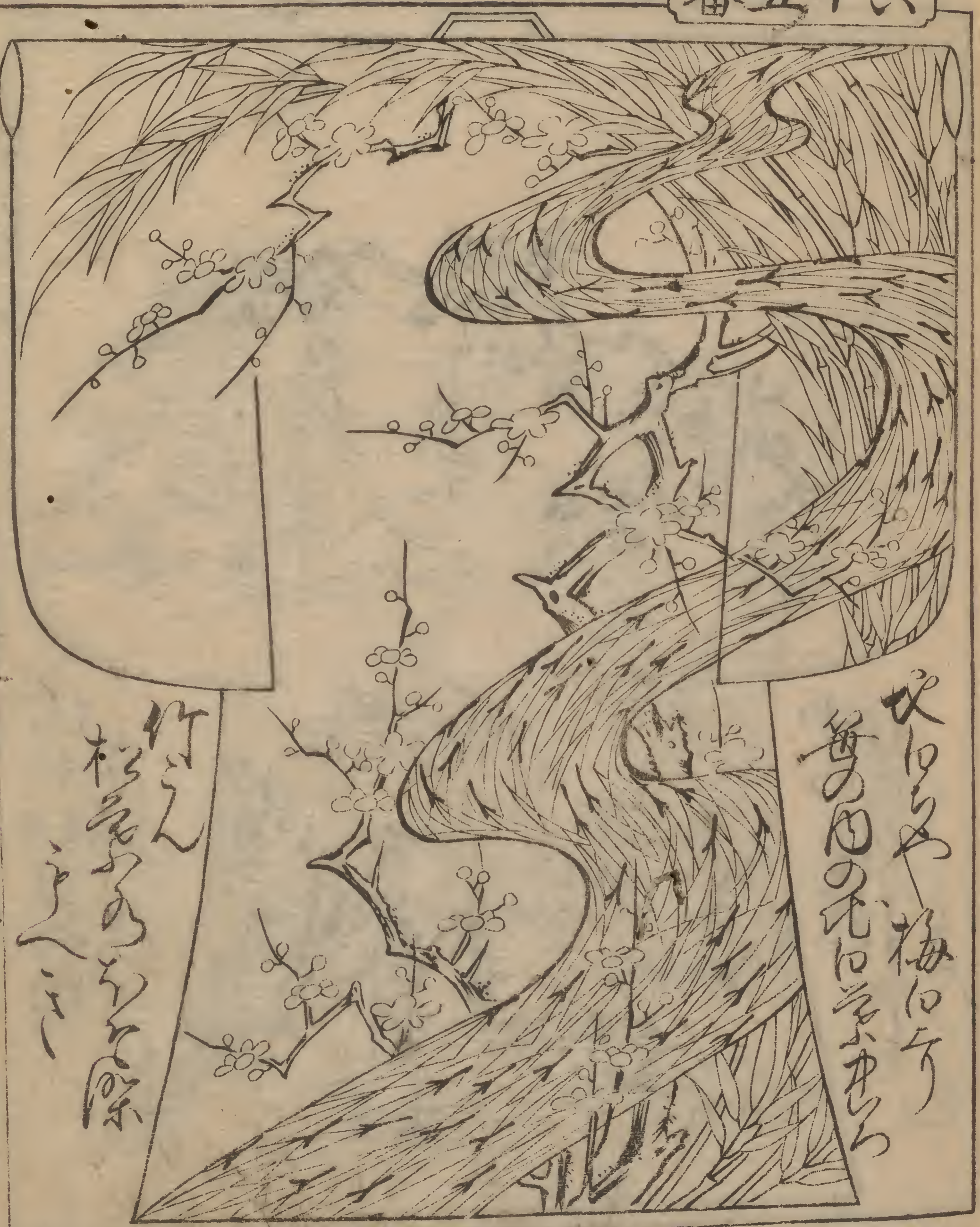
比々糸子
おふふふ
あつて

ち
あつて



まじりかゝり内紫
心花さくらり

く
さくらり



まじりかゝり内紫
心花さくらり

く
さくらり



比叻松皮の目
何れもさう
白あけりあえ

山の雲
松皮のささ
くさくさアヒ



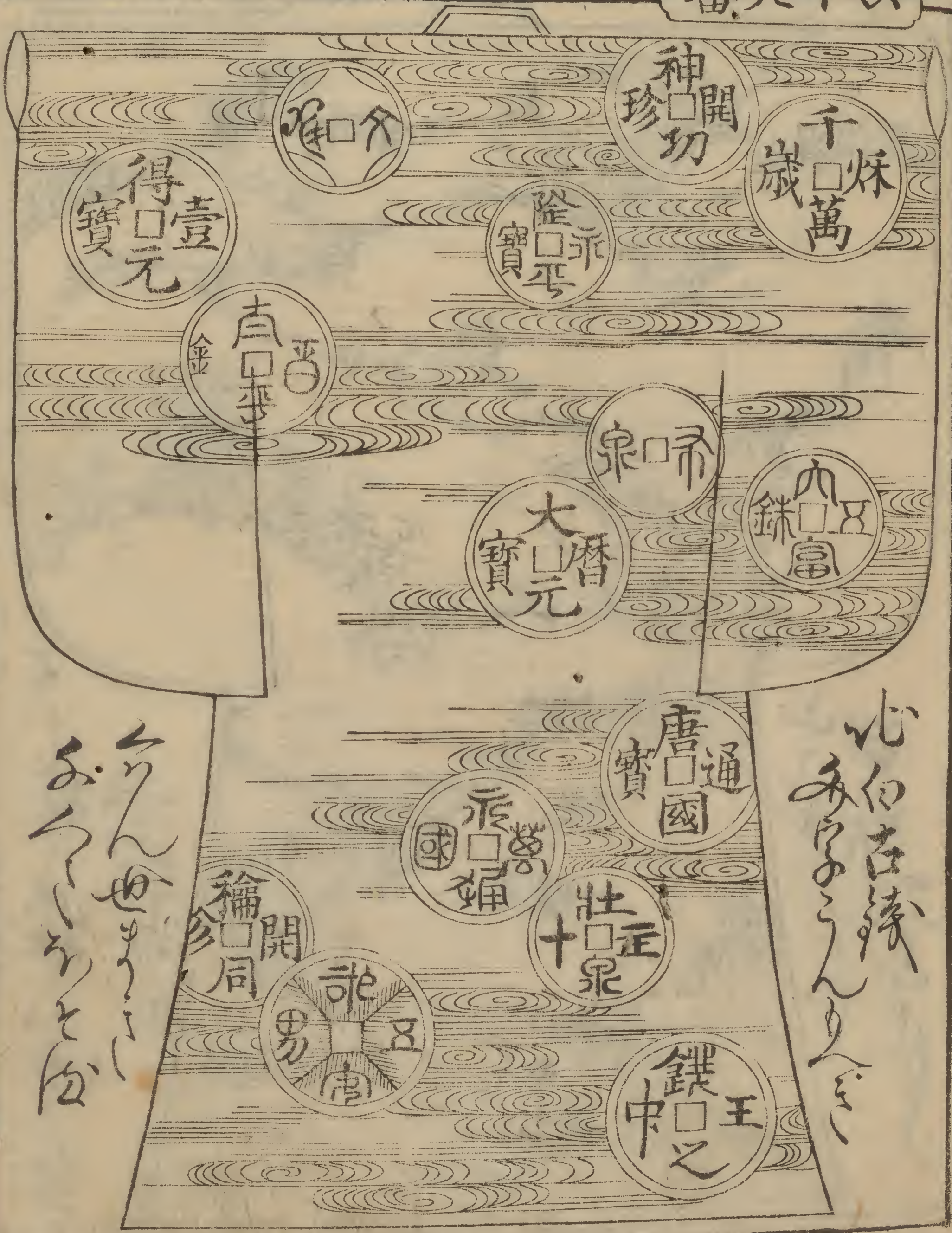
老
竹
えんや

水車
印



此はこゝろの草
 なまゝの草

かたはら
 まゝの草



心白古銭
 あまうんり

ふんやう
 ふうんやう



夕陽のけり
 水は白
 妹背山やうれ白

山うらや
 機新木
 つまやうれ白



比叡系松白
 本茂後うん

夕陽のけり
 水は白

番二十七



志海のふりめし
あきあき
あきあき

あきあき
あきあき
あきあき

番三十七



あきあき
あきあき
あきあき

あきあき
あきあき
あきあき



心はしふふのた
ねきりてんが

なまのこか
院ひろ



行ちのてん
院ひろ

松のてん
院ひろ



柿の葉の虫
うさぎの葉の虫

枯木蜘蛛の巣
うさぎの葉の虫



うさぎの葉の虫
うさぎの葉の虫

うさぎの葉の虫
うさぎの葉の虫

番八十七



あけみ
をらみ
あし

あけみ
をらみ
あし

番九十七



あけみ
をらみ
あし

あけみ
をらみ
あし



比
の
中
に

細
い
花
の
色



比
の
中
に

花
の
色
は
白
い



花の
うきうき
うきうき
うきうき

花
うき
うき
うき



山
うき
うき
うき

山
うき
うき
うき



福祿寿長子

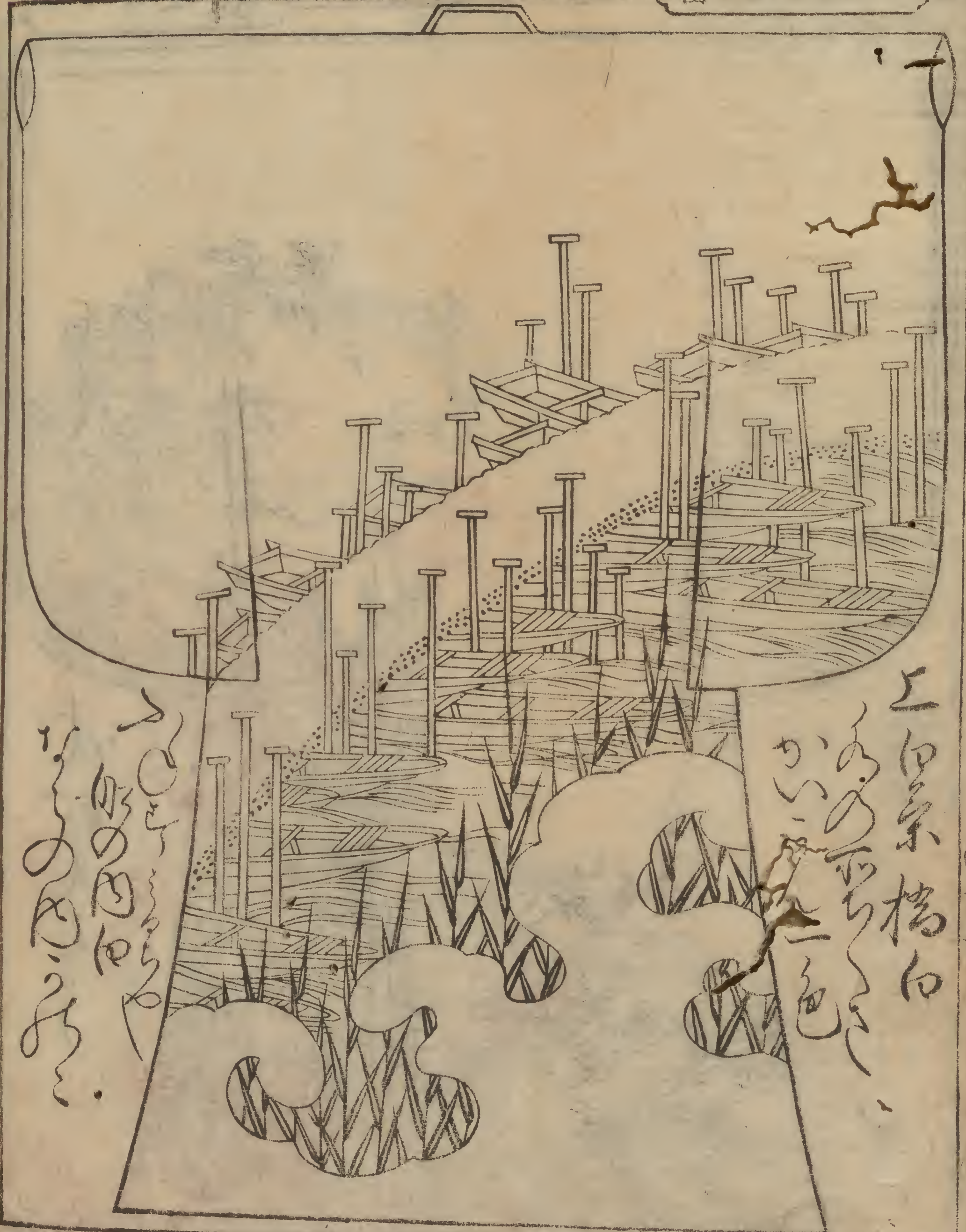
くわんお

1. せうお
くわんお



くわんお

くわんお
くわんお



上は糸橋白
ふのりちり
かいふた色

ふのりちり
ふのりちり
ふのりちり



比のりちり
あやちりちり
ふのりちり

か
ふのりちり
おのりちり



繪本出來目錄

溪川稱觥堂板

弦本忘單

三冊

綉巾寫寶袋

十册

弟不肖默然

同
魏方懷

三冊

法本通實志

十冊

之強山寺

同
たふ
義

式冊

一 同
ひき形 癩癧

三
開

禽獸蟲魚

同
孝源氏

卷冊

天乃橋立

三
冊

八氣よくさ張

同
手快眼同

式冊

同
宿の梅

三冊

會獸蟲魚

傳書樓

三冊

鎌倉心稿

二冊

卷之九

同
萬物
絃
琴

式冊

万宝全人

卷二

訓蒙彙編

橫濱 大東 德正 古著 題尺 古今 中 並 古 燒 石 燈
大東 乃 其 一 切 刀 根 格 目 並 背 燒 石 本 銘 燈

同
葉山居
壁璫

大綱

754.7
.N15